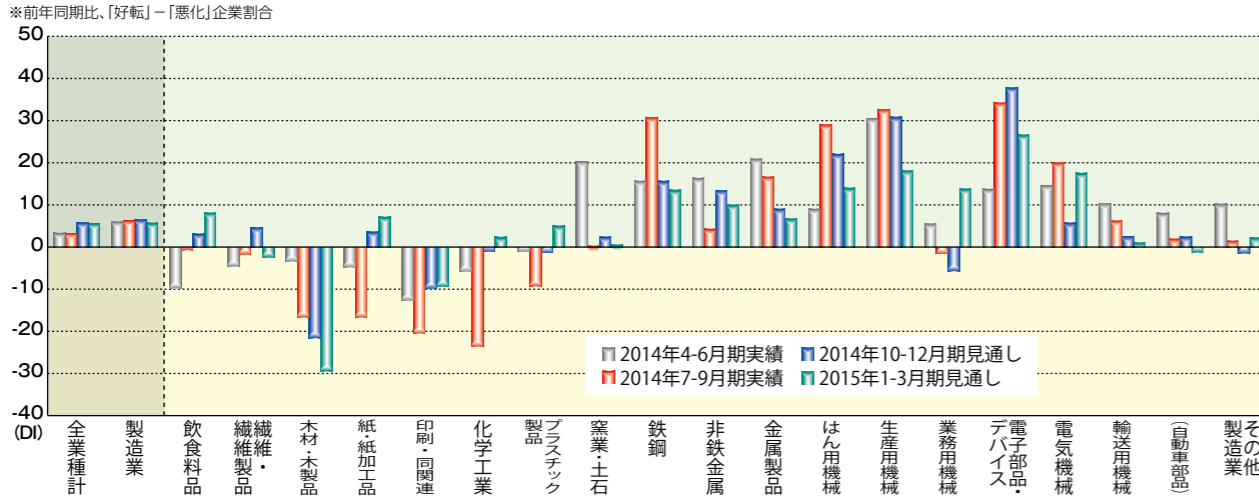


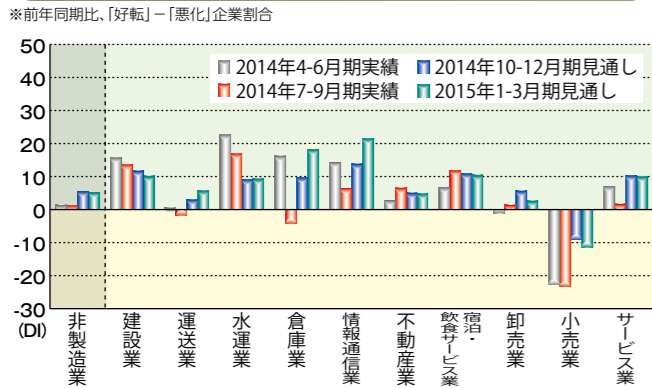
①-2 業種別業況判断

製造業：消費関連でマイナス幅が拡大、金属・機械は堅調に推移
非製造業：小売業が引き続き二桁のマイナス水準

製造業 業種別業況判断DIの推移<季節調整値>



非製造業 業種別業況判断DIの推移<季節調整値>



●製造業
 製造業は、木材・木製品、紙・紙加工品、印刷・同関連、化学工業などでマイナス幅が拡大した。一方、金属・機械関連の業種の多くはプラス水準で推移している。来期以降は、今期マイナス水準にある業種も、多くは上昇する見通し。

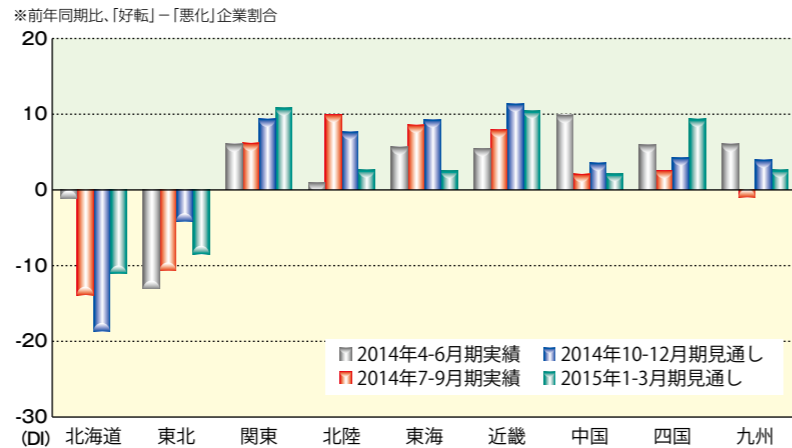
●非製造業
 非製造業は、小売業が引き続き二桁のマイナス水準となっている。来期以降はほぼすべての業種でプラス水準となり、小売業でもマイナス幅が縮小する見通し。

①-3 地域別業況判断

5地域で上昇

業況判断DIを地域別にみると、5地域で上昇し、関東、北陸、東海、近畿、中国、四国の6地域でプラス水準となった。
 来期以降は、7地域でプラス水準となる見通し。

地域別業況判断DIの推移<季節調整値>



データで見る中小企業の動き
全国中小企業動向調査(中小企業編)の結果概要

2014年7-9月期実績、10-12月期および2015年1-3月期見通し

『中小企業の景況は、弱い動きはみられるものの、緩やかに回復している』

日本政策金融公庫総合研究所は10月21日、「全国中小企業動向調査結果(2014年7-9月期実績、10-12月期および2015年1-3月期見通し)」を発表した。



今回調査のポイント

- ① **業況判断DI** 前期から横ばいとなり、引き続きプラス水準。来期は**上昇**する見通し。
- ② **売上DI** 前期から横ばいとなり、引き続きプラス水準。来期は**上昇**する見通し。
- ③ **価格関連DI** 販売価格DI・仕入価格DIともに7期ぶりに**低下**。
- ④ **純益率DI** 2期連続で**低下**も、来期以降は**上昇**する見通し。
- ⑤ **従業員DI** 前期から横ばいとなり、13期連続の**プラス**水準。
- ⑥ **設備投資実施企業割合** 3期ぶりに**上昇**し、高い水準が続く。

DI (ディフュージョン・インデックス)

当調査のDIは、回答結果の分散程度を指数化したものです。質問に対し「プラス」「中立」「マイナス」の3つの選択肢を用意し、「プラス」の選択肢に回答した企業の割合から「マイナス」の選択肢に回答した企業の割合を差し引いた値で、基本的に「変化の方向」を表します。

DATA

- 調査時点：2014年9月中旬
- 調査対象：日本公庫中小企業事業取引先13,375社
- 有効回答企業数：6,571社(回答率49.1%)

①-1 業況判断

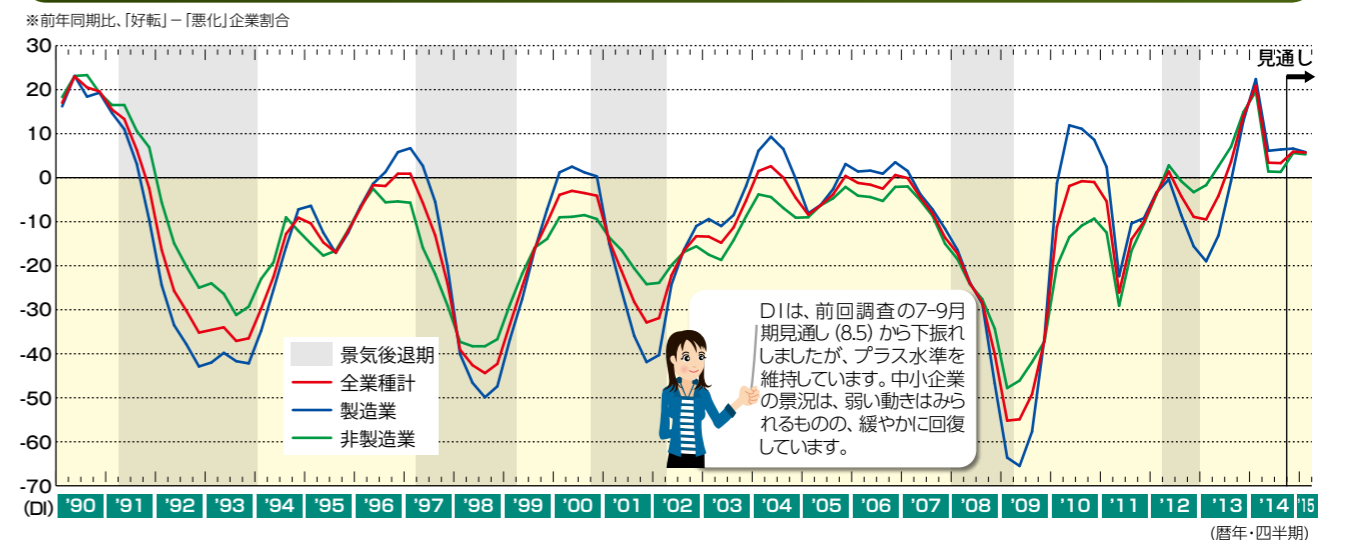
横ばいも5期連続の**プラス水準**

3.4 > 3.3



- 現状 業況判断DI(前年同期比、「好転」-「悪化」企業割合)は前期から横ばいとなり、3.3と引き続きプラス水準にある。
- 見通し 来期は5.9に上昇し、来々期は5.7とプラス水準が続く見通し。

業況判断DIの推移<季節調整値>



全国中小企業動向調査（中小企業編）について

当調査は、中小企業の景気動向等を把握するために、日本公庫中小企業事業のお取引先のご協力を得て1959年以來3ヵ月ごとに実施している調査です。調査結果については、中小企業の分野においてわが国を代表するビジネスサーベイの1つとして、関係各位から高い評価を得ています。

④ 利益

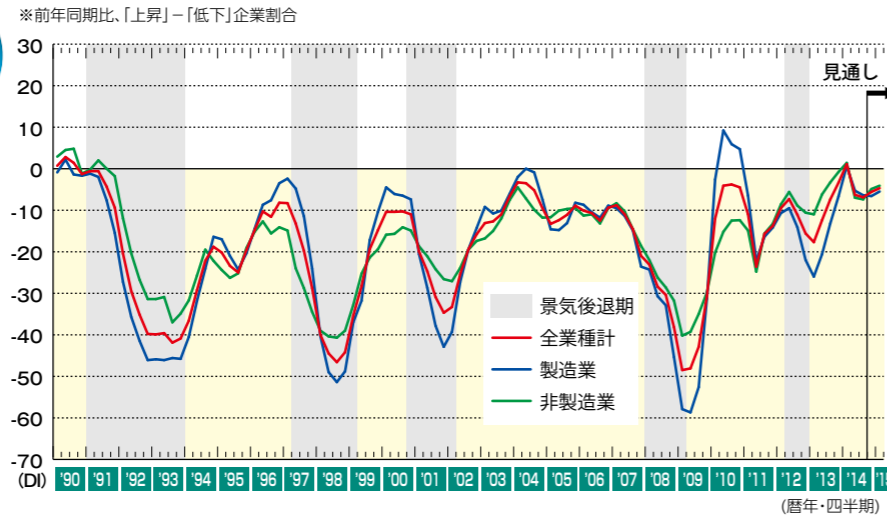
2期連続で低下

▲6.3 ▷ ▲6.9



純益率DI（前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合）は▲6.9と、前期から0.6ポイント低下した。来期は▲5.6に、来々期は▲4.7に上昇する見通し。

純益率DIの推移<季節調整値>



② 売上

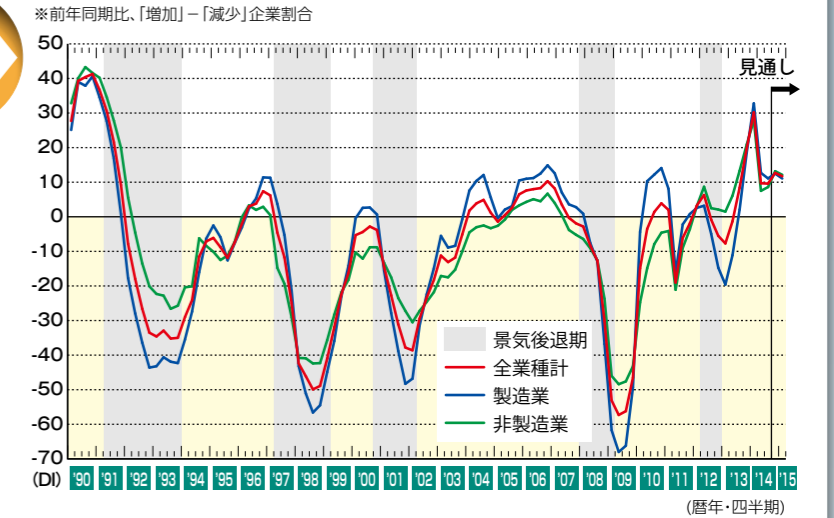
横ばいでプラス水準を維持

9.7 ▷ 9.6



売上DI（前年同期比、「増加」-「減少」企業割合）は前期から横ばいで、9.6とプラス水準を維持している。来期は12.7に上昇する見通しである。

売上DIの推移<季節調整値>



⑤ 雇用

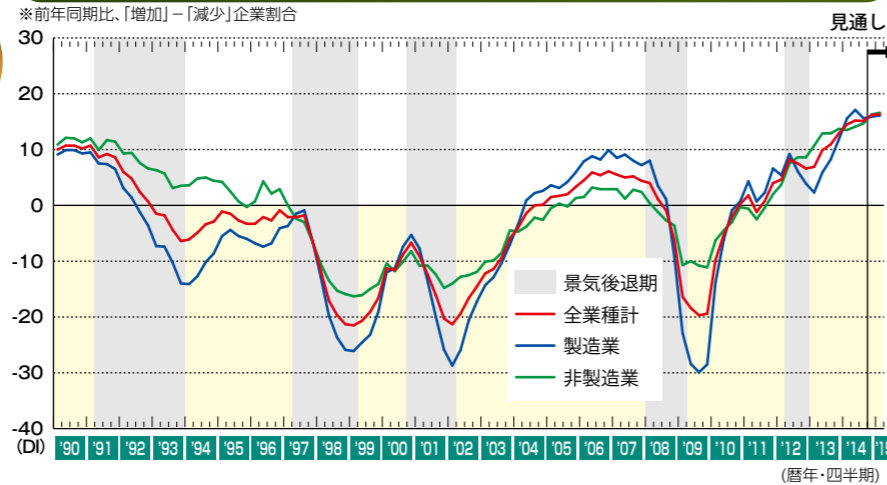
13期連続でプラス水準

15.2 ▷ 15.1



従業員DI（前年同期比、「増加」-「減少」企業割合）は15.1と、13期連続でプラス水準となっている。

従業員DIの推移<季節調整値>



③-1 販売価格

プラス幅が縮小

11.6 ▷ 10.1



販売価格DI（前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合）は、前期から1.5ポイント低下し、10.1となった。低下は7期ぶりも、4期連続でプラス水準となっている。

③-2 仕入価格

プラス幅が縮小

60.7 ▷ 58.4



仕入価格DI（前年同期比、「上昇」-「低下」企業割合）は、前期から2.3ポイント低下し、58.4となった。低下は7期ぶり。

⑥ 設備投資実施企業割合

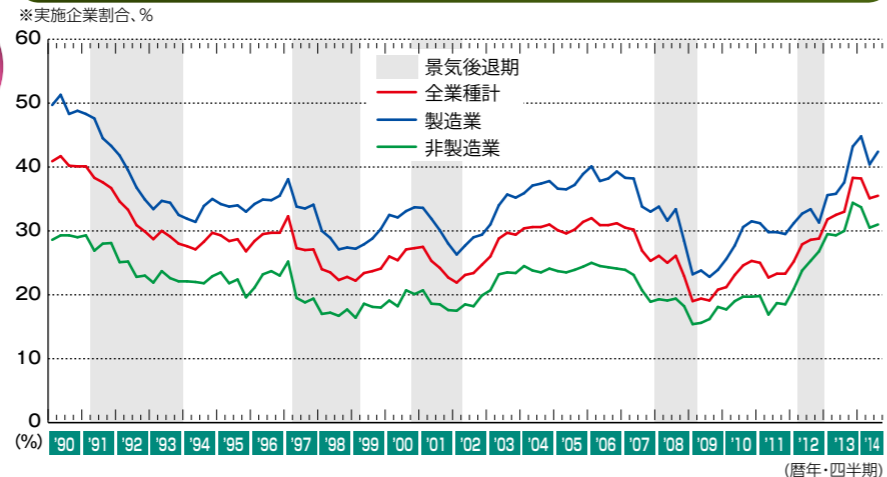
3期ぶりに上昇

35.1 ▷ 35.5



設備投資実施企業割合は35.5%に上昇し、引き続き高い水準にある。

設備投資実施企業割合の推移<季節調整値>



価格関連DIの推移<原数値>

